

RP-1 一材型断面修復用ポリマーセメントモルタル

- ① 完全一材型のプレミックス製品で、取り扱いが容易です。
- ② ポンプ圧送性に優れているため、均一な吹付けが可能です。
- ③ 再乳化型粉末樹脂の添加により、セメント粒子の結合をゆるやかにし吹付けやコテ塗り作業の歩掛りが向上します。

標準配合

RP-1	清水	練り上がり	施工面積※
1 袋 (20kg)	3.3 ℓ ～ 3.5 ℓ	約 11.2 ℓ	約 1.1m ² (10mm 厚)
1800kg (90 袋) /m ³	306 ℓ	約 1000 ℓ	約 95m ² (10mm 厚)

※材料ロス率 5%としています。

物性値

項目	試験結果※	試験方法
耐摩耗性	平均摩耗深さ比較結果：1.5 以下	水砂噴流摩耗試験
付着強度 (28 日)	3.2N / mm ²	建研式
促進中性化 (28 日)	1.0mm	JIS A 1153
曲げ強度 (28 日)	7.6N / mm ²	JIS A 1171
圧縮強度 (28 日)	38.1N / mm ²	JSCE-K 561
長さ変化率	0.04%	JIS A 1129-3
粗度係数	0.010 以下	実験水路による測定 (国立大学法人広島大学)
凍結融解性	102% (300 サイクル)	JIS A 1148
透水量	4.0 g	JIS A 6203

※記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。

RPフィニッシャー アクリル樹脂系膜養生剤・表面仕上げ補助剤

- ① アクリル酸のモノマーを複数合わせて安定した性能とし、特に耐候性に優れています。
- ② モルタル中の水分蒸発を抑制し、セメントの水和反応に必要な水分を保持します。
- ③ 表面仕上げ補助剤として最適であり、コテ作業が容易になります。
- ④ 耐摩耗性、耐衝撃性等の向上が得られます。

(【試験条件】：塗布量：2 倍希釈液を 0.2kg/m²、養生環境：40℃×40%RH)

	養生期間	RP フィニッシャー※	未塗付
水分損失量 (g/m ²)	72 時間養生後	0.22	0.53
	14 日養生後	0.23	0.54
	28 日養生後	0.24	0.55

※記載の数値は試験値であり、保証値ではありません。



施工技術本部

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35
TEL.03-3265-2572 FAX.03-3265-0870

URL www.raito.co.jp

e-mail hosyuu@raito.co.jp

お問い合わせは下記へお申し付け下さい。

ハイパーモルタル工法

High-performance Mortar Lining

高性能モルタルによる水路補修工法

NNTD登録番号 No.0329



ハイパーモルタル工法

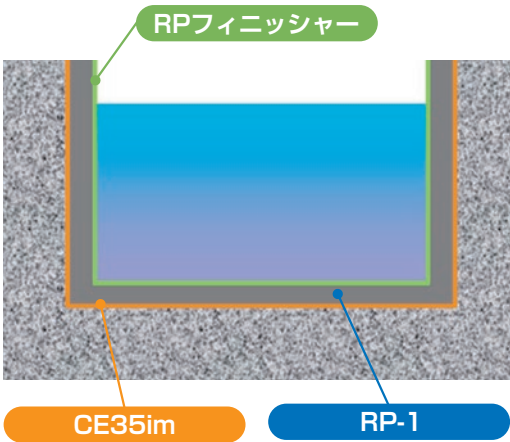
High-performance Mortar Lining

経年劣化した農業用水路等の構造物の水理性能を改善するライニング工法

ハイパーモルタル工法は、経年劣化したコンクリート構造物の表面をポリマーセメントモルタルで被覆する工法です。この工法により、既設コンクリート構造物の劣化因子である水分、二酸化炭素、塩化物イオン等の有害物質の侵入を遮断し、劣化の抑制が可能となります。さらに、水理性能の劣化に対して、通水性能（粗度係数）の改善が図れます。

特 長

- 1 エポキシ樹脂系プライマー（CE35im）、ポリマーセメントモルタル（RP-1）、アクリル樹脂系膜養生剤（RPフィニッシャー）を組み合わせた劣化コンクリート構造物の断面修復・表面被覆工法です。
- 2 被覆剤（RP-1）のひび割れ対策として、ビニロン短繊維を混入しています。
- 3 RP-1は、従来の製品に比べ、特に耐摩耗性に優れています。
- 4 接着・曲げ・圧縮強さ・耐候性にも優れており、長期にわたって既設コンクリートを保護します。
- 5 粗度係数を改善し、水路に要求される水理特性を確保することができます。



標準仕様

製品名	用途	施工可能厚	配合	荷姿
CE35im	プライマー処理	—	主剤：硬化剤＝2：1	12kgセット / 梱包
RP-1	断面修復表面被覆	5～30mm	清水 3.3～3.5ℓ / 袋	20kg / 袋
RPフィニッシャー	表面仕上げ補助剤	—	2倍希釈液	18kg / 缶

施工手順

1 下地処理



コンクリート下地面の脆弱部、汚れ等を砕りや高圧洗浄機等で除去・清掃します。

2 プライマー塗布



「CE35im」の主剤と硬化剤を2：1（重量比）で秤取り、攪拌機などを用いて均一に混合します。混合後、ローラー・刷毛等でムラのないように均一に塗布します。

3 材料の混練り



「RP-1」20kg/袋に所定の清水を加え、モルタルミキサーで3分以上混練します。

4 表面被覆



混練後の「RP-1」をスクイズ式ポンプで圧送し吹付けます。コテ塗りによる施工も可能です。

5 仕 上 げ



吹付け後、表面を粗仕上げし、「RP-1」が適度の締った状態をみて、2倍液に希釈した「RPフィニッシャー」を散布し、最終のコテ仕上げをします。

6 完 成



施工完了。

物性・配合

CE35im 二液無溶剤型エポキシ樹脂系プライマー

- 1 ドライアウトが防止でき、ポリマーセメントモルタルと既設母材との接着性の確保が可能です。
- 2 湿潤面での使用が可能です。
- 3 可使時間及び打ち継ぎ有効時間が長く、作業性に優れます。
- 4 材料は低粘度であり、作業性に優れます。

項目	A（主剤）	B（硬化剤）
主成分	エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン
外観	淡白色液状	褐色液体
荷姿・容量	梱包：12kg セット	
	缶：8kg	缶：4kg
混合比	A：B＝2：1	
可使時間	10℃：80分～100分、20℃：50分～70分	
打ち継ぎ有効時間	3時間以内	
標準使用量	0.3kg / m ²	